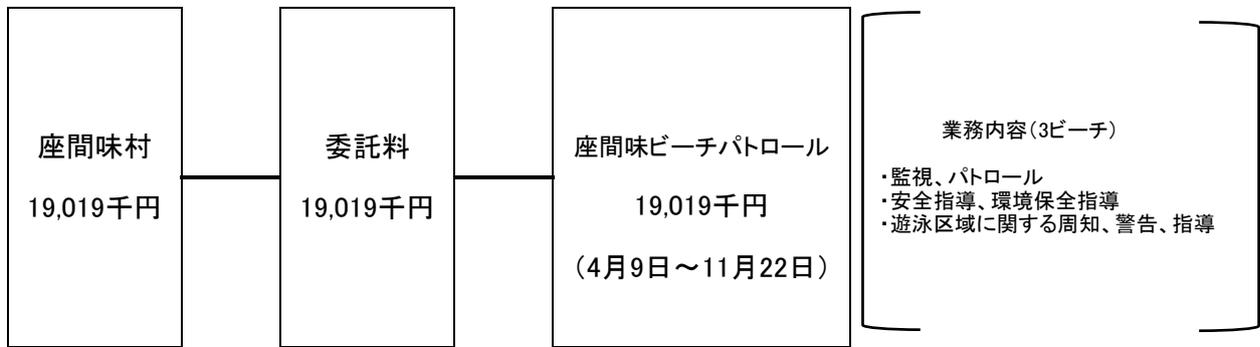


市町村名		座間味村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-① 座間味村海域安全隊事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア			
	担当部署名	船舶・観光課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	観光リゾート産業の振興		
事業内容		座間味村内の3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、観光客が増加するシーズンの海難事故防止及び安全確保を図るためにライフセーバーを配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	25,751	21,228	20,266	19,271	24,948	
	(b)予算現額	25,751	21,228	20,266	19,271	24,948		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0		
	(d)繰越額	0	0	0	0	0		
	A.計(b+d)	25,751	21,228	20,266	19,271	24,948		
	B.執行済額	21,957	21,143	20,266	19,270	19,019		
	うち交付金充当額	17,565	16,914	16,212	15,416	15,214		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	85.3%	99.6%	100.0%	100.0%	76.2%		
予算の状況の説明		完了検査時の精査の結果、契約額と実績額に差異があり、事業費を減額としたことから、5,867千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	ライフセーバーの配置 ・古座間味ビーチ2名(7・8月は1名増) ・阿真ビーチ2名 ・北浜ビーチ2名		目標 (GW~10月末常駐)	(GW~10月末常駐)	(GW~10月末常駐)	(GW~11月中旬常駐)		
			実績	4/23~10/31	4/13~11/30	4/18~11/15	4/9~11/22	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明		座間味村内の3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、合同会社座間味ビーチパトロールのスタッフが常駐し、監視業務を行った。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、ビーチ利用者が極端に少なく、監視を1名で行った日もあった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
			目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
	ライフセーバー配置期間中の死亡事故0件		実績		0件	1件	0件	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		・村内3ビーチ(古座間味ビーチ、阿真ビーチ、北浜ビーチ)において、令和3年4月9日~11月22日の期間中、ライフセーバーを配置した。 ・溺水事故は発生したものの死亡事故を防ぐことが出来たため、目標を達成出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ライフセーバー配置期間中の死亡事故は発生せず目標は達成出来たが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前と比べてビーチ利用者が大幅に減少した。 ビーチ利用者の減少により、各ビーチのライフセーバーの配置が1名のみの日もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全にビーチを利用して頂けるよう、ビーチでの感染防止対策を検討する必要がある。 ライフセーバーの適正配置について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> より安心安全にビーチを利用して頂けるよう、ライフセーバーによる監視業務だけでなく、新しい生活様式を取り入れたビーチでの感染防止対策について取り組む。 ライフセーバーの適正配置について検討する 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,019	19,019	15,214	3,805	0



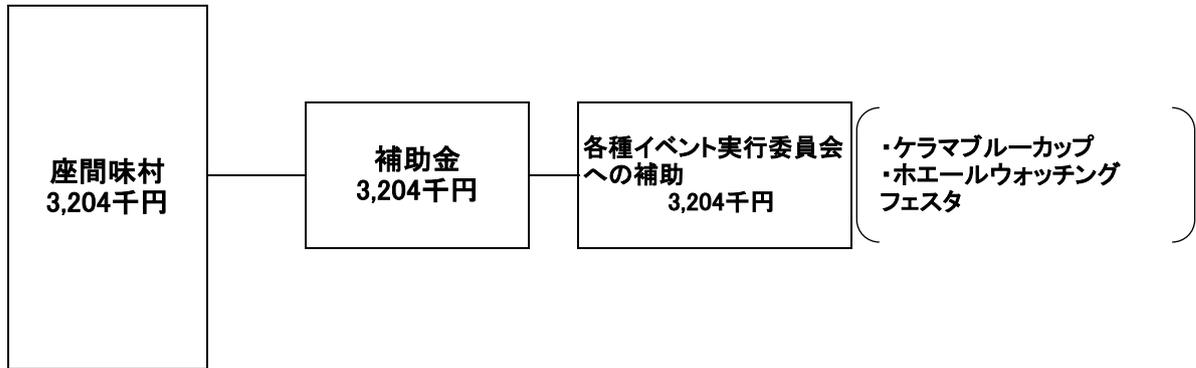
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者はプロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考える。 ○期間、人数から鑑みて適正な規模であった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施し、事業実施に必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		座間味村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	座間味村がんばる観光支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内周知活動、県外水族館等での誘致活動を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	20,850	20,050	19,550	19,550	19,550
		(b) 予算現額	20,850	11,050	19,550	12,977	5,650
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 9,000	0	▲ 6,573	▲ 13,900
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	20,850	11,050	19,550	12,977	5,650
		B. 執行済額	16,550	9,792	18,201	11,143	3,204
		うち交付金充当額	13,240	7,834	14,560	8,914	2,563
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	79.4%	88.6%	93.1%	85.9%	56.7%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や規模縮小、県外PR委託事業の未実施により、予算13,900千円を減額した。不用額2,446千円については、規模縮小等によるイベント補助金の執行残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	各種イベントへの支援	目標	(イベント支援7件)	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)	(イベント支援6件)	
		実績	イベント支援7件	イベント支援6件	イベント支援3件	イベント支援2件	
	県外PRイベントの実施	目標	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	(イベント実施)	
		実績	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント未実施	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、村内イベントは4件(座間味ヨットレース、サバニ帆漕レース、座間味島祭り、座間味島ファン感謝月間)が中止、規模縮小にて行ったイベント2件(ケラマブルーカップ、ホエールウォッチングフェスタ)に対し補助を行った。県外PRについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、委託事業者が見つからず未実施となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	()	(112,000人)	(112,000人)	(112,000人)	()
	入域観光客数112,000人	実績		99,110人	45,175人	50,615人	
		目標	()	()	()	()	()
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響によるまん延防止措置等重点措置の長期化、船舶の減便等により観光客数が減少したことにより目標を達成出来なかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や船舶の減便を余儀なくされ、前年度に引き続き入域客数は新型コロナ流行前の約半数に留まった。</p>	<p>・今後のwithコロナ、afterコロナを見据え、感染症予防対策、新たな観光スタイルの確立を意識して取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・安心・安全に楽しめる観光地を目指し、感染症予防対策を引き続き推進しながら、村内の観光コンテンツを充実させていく。 ・SNS等を活用した国内外へのPR活動にも力を入れて入域観光客数の回復を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,204	3,204	2,563	641	0



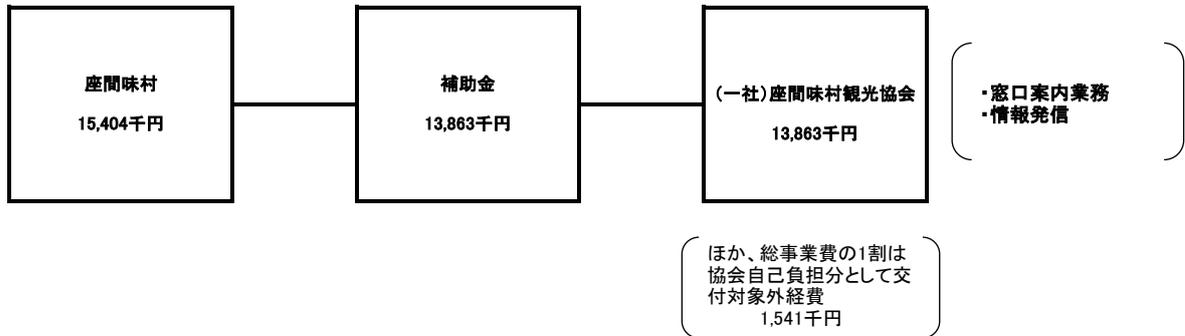
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に則り補助先の選定を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業規模に見合った範囲内で設定しており、妥当であるとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業内容や事業目的等から判断して妥当であるとする。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。

市町村名		座間味村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	座間味村観光受入拠点事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	年中無休の観光案内業とタイムリーな観光情報発信及び村内事業者への取次案内などをスムーズに実施し、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する歓呼協会へ支援を行い、観光客の誘客と満足度の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	19,734	18,282	16,398	16,660	16,749
	(b)予算現額	19,734	18,282	16,398	16,660	16,749	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	19,734	18,282	16,398	16,660	16,749	
	B.執行済額	16,303	16,235	14,566	12,034	13,863	
	うち交付金充当額	13,042	12,988	11,652	9,627	11,090	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	82.6%	88.8%	88.8%	72.2%	82.8%	
予算の状況の説明		不用額の2,886千円については、新型コロナウイルスにより中止になった県外PR等のための出張旅費や講習会の講習費用の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光案内所年中無休(台風時は閉鎖)	目標	(365日)	(365日)	(365日)	(365日)	
		実績	365日	365日	365日	365日	
	村内外誘客活動年5回	目標	(8回)	(8回)	(5回)	(5回)	
		実績	4回	5回	0回	1回	
	観光事業者向けスキルアップ講座	目標	(5回)	(4回)	(3回)	(6回)	
実績		3回	2回	0回	0回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 案内業務については、年中無休で実施出来た。新型コロナウイルス感染症の拡大により、施設自体が閉鎖していたが、港に仮窓口を設置し、案内業務や電話問い合わせへの対応を実施した。 村内外の誘客活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により1回しか実施出来なかった。 観光事業者向けスキルアップ講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を、アンケートにより実施する。	目標	()	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	()
		実績		89.90%	73.10%	80.2%	
	観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光業従事者へのアンケートにより、本事業の在り方を検証する。	目標	()	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	()
		実績		95.00%	未実施	未実施	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で入域者数は少なかったが、満足度は80%を超え、目標を達成出来た。 観光業従事者に対するおもてなし向上のための講習会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催出来ず、アンケートも未実施である。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光協会職員の人手不足が課題となっており、事業を推進する上で体制強化が必要である。</p>	<p>・観光協会と定期的に意見交換会を行っており、業務分担の見直しや体制づくりに対して村として出来る限りの助言を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・既に着手している意見交換会を継続し、観光協会の体制強化を図り、質の高いサービスの提供により観光客の満足度向上へと繋げていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
15,404	13,863	11,090	2,773	1,541

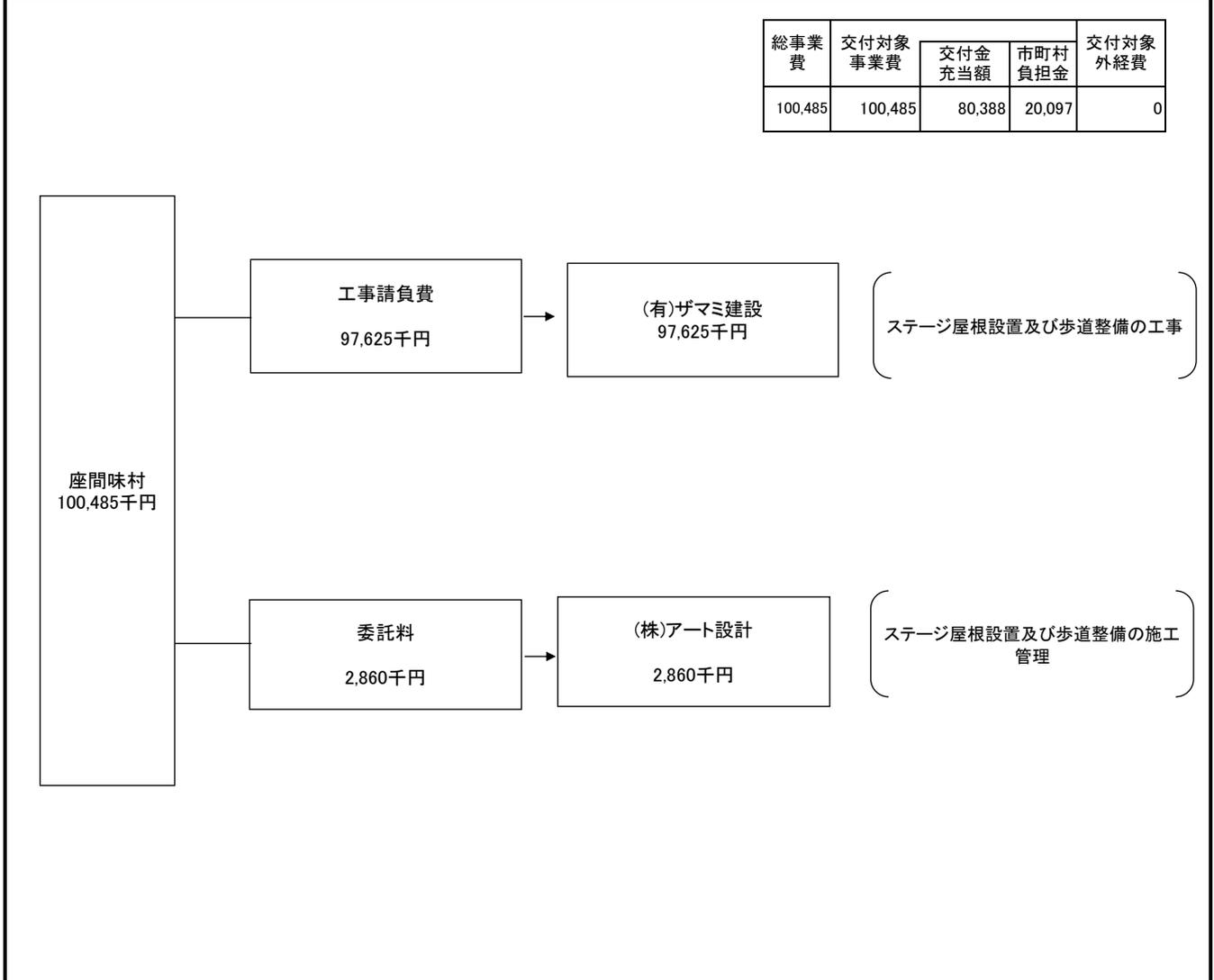


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に則り補助先の選定を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○業務内容に見合った予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は事業費の1割を自己負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。

市町村名		座間味村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	座間味村観光イベント施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	令和1~3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	座間味村歴史文化・健康づくりセンターに隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	年度	
		(b)予算現額	16,381	124,201	-	100,605		
		(c)増減額(b-a)	16,249	151,145	-	100,605		
		(d)繰越額	▲132	26,944	-	0	0	
		A.計(b+d)	-	-	92,581	-		
	B.執行済額		16,249	151,145	92,581	100,605	0	
	うち交付金充当額		15,570	58,564	92,675	100,485		
	次年度繰越額		12,456	46,851	74,140	80,388		
	執行率(%) (B/A)		-	92,581	-	-		
			95.8%	38.7%	100.1%	99.9%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		不用額120千円については委託料の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	年度	年度	年度		
	ステージ屋根設置及び歩道整備の実施	目標	ステージ屋根(設置及び歩道)整備の実施	()	()	()	()	
		実績	ステージ屋根設置及び歩道整備の完了					
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	工事請負については令和3年5月26日に契約締結、工事監理委託については令和3年6月15日に契約締結し、両契約とも9月30日に期間延長の改定契約を締結した。12月24日にステージ屋根設置及び歩道の整備が完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	年度	年度	目標値(R4年度)	
	ステージ屋根設置、歩道整備の完了	目標	()	ステージ屋根設置、歩道整備	()	()	()	
		実績		ステージ屋根設置、歩道整備の完了				
	【R4年度成果目標】 イベントへの参加者数(観光客)		目標	()	()	()	()	(5,040人)
			実績					
進捗状況説明	工期の延長をしたものの、ステージ屋根設置及び歩道の整備が完了し、ステージが完成した。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、ステージを活用したイベントを実施していく。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・出演者控室や音響施設及びステージ屋根の設置を整備し、ステージが完成したため、今後施設を活用したイベントを実施していく必要がある。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、村内の各イベント時(ヨットレースやサバニ帆漕レース等)において、施設を積極的に活用していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・新型コロナウイルス感染症の状況を注視する必要があるが、村内の各イベントで施設利用を行うことにより、令和4年度成果目標として掲げている利用者数5,040人の目標が達成出来るよう取り組む。</p> <p>・村内外の多くの方々に施設を活用して頂けるよう、PR活動にも積極的に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事の業者選定は指名競争入札により実施したが2度の入札で不調となったため不随契で契約を行ったため、妥当であったと考えている。</p> <p>委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模は適正な規模であったといえる。</p> <p>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		座間味村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備		
事業内容	離島交通ネットワーク手段の確保として、船舶欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した際の運賃の一部を補助する。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	12,600	6,000	6,000	2,760	2,160
		(b)予算現額	6,000	1,740	3,000	2,100	2,160
		(c)増減額(b-a)	▲6,600	▲4,260	▲3,000	▲660	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	6,000	1,740	3,000	2,100	2,160
		B.執行済額	4,200	510	1,740	1,470	1,080
		うち交付金充当額	3,360	408	1,392	1,176	864
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	70.0%	29.3%	58.0%	70.0%	50.0%
予算の状況の説明	当初予算の段階では合計72回のフライトがあると想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航自粛等によりフライト数が減少し、1,080千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	村営船舶航路欠航時等におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施		目標 (支援)	(支援)	(支援)	(支援)	
			実績	支援実施	支援実施	支援実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	慶良間空港～那覇空港間の運行回数36回分の運賃の一部支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	利用者アンケートを行い、「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	100%	99.2%	99.1%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	アンケート調査の結果、回答のあった106件のうち、74件が「大満足」、19件が「やや満足」、12件が「満足」といった回答であった。利用者の満足度は非常に高く、主に船舶欠航時の代替の移動手段があること、船に比べ移動時間の短縮になることに対し、利便性が図られたといった感想が多く寄せられた。利用フライト件数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年同様当初の予定フライト件数に届かなかった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	(利用客の満足度) ・利用者アンケートの満足度は高く、船舶欠航時の代替移動手段として高い評価を得ている。 (入客利用数) ・予定フライト件数に達しなかった原因として、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航自粛等によりフライト数が減少したと考えられる。	(利用客の満足度) ・アンケート結果の分析等を行い、引き続き利用者から高い評価を得ることが出来るよう努める。
今後の取り組み方針		
(観光客の満足度) ・引き続きアンケートの分析を行い、外国人へも多く利用してもらえるよう運航会社とも連携を図りながら知名度を上げる。 (入客利用数) ・引き続き、村及び観光協会HPでの情報発信を強化する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,080	1,080	864	216	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付要綱に則り補助事業者の決定を行っており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額1,080千円が生じたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、予算規模は適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は最大5人利用時に高速船の那覇発往復料金と同等となっており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業の使途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。

市町村名		座間味村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	座間味村自動車航送運賃低減化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	船舶・観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島～座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,843	4,462	4,199	4,199	4,283
	(b)予算現額	3,843	4,462	4,199	4,420	4,283	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	221	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	3,843	4,462	4,199	4,420	4,283	
	B.執行済額	4,326	4,337	4,077	4,420	5,092	
	うち交付金充当額	3,460	3,469	3,261	3,535	4,073	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	112.6%	97.2%	97.1%	100.0%	118.9%	
予算の状況の説明	自動車航送台数が当初の想定よりも多く、当初予算額を上回ったため、実績確定時において流用対応を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	車両航送運賃の低減化支援		目標 (支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	
			実績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初想定していた車両台数よりも多く運賃低減化支援を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答80%以上を目標とする。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	73.3%	75.0%	82.0%	
	【参考指標】支援台数		目標 ()	(575台)	(594台)	(601台)	()
			実績	577台	587台	645台	
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、支援台数は例年と比べ減少するかと考えられたが、本島での公共交通機関の利用を控え、安全な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方もおり、支援台数は当初の想定より多かった。(4月29台、5月53台、6月51台、7月54台、8月60台、9月46台、10月67台、11月49台、12月73台、1月53台、2月59台、3月51台)また、アンケートを実施し、50件中41件が満足しているとの結果であった。(満足度82%)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・コロナ禍により、安全な移動手段として自家用車を使用するために車両航送を利用する方も多くおり、経済的負担軽減を図ることを目的とした本事業の利用者満足度は目標の80%に届いた。</p>	<p>・平成25年度より本事業を継続実施しており、令和3年度は目標の80%に届いたが、満足度の維持向上に向けて更なる取組が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業が沖縄振興特別推進交付金を活用した事業であること、離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るために車両航送運賃の一部を支援している事業であることを利用者に再認識してもらうため、アンケートに事業内容を記載したり、補助が適用されない場合の正規運賃を記載する等、アンケートの記載内容を工夫し、利用者の満足度向上を図る。また、これまで個人が所有する自家用車について本事業の対象としていたが、法人所有の車両についても支援の対象とし、支援の幅を拡大し、更なる満足度向上に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,092	5,092	4,073	1,019	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村内に唯一の航路事業者を支出先に選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不用額もなく適正な規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者については、5割を負担し実施要綱どおりの負担割合であり、事業内容からも妥当だと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○座間味村自動車航送運賃低減化事業については実施要綱に定めた額を執行しているので妥当だと考える。